

残菊物語 (1939)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 日本

色彩 B&W

時間 143分

初公開日 1939/10/10

映倫 G

【解説】

村松梢風が二代目・尾上菊之助の人生を描いた同名小説を、依田義賢が脚色し溝口健二が監督した。溝口健二の最高傑作のひとつに挙げられ、1956年と1963年にそれぞれ再映画化されている。溝口演出の特徴である「1シーン1カット」は、この作品で完成した。

二代目・尾上菊之助は五代目・尾上菊五郎の養子として、甘やかされて育ってきた。そのため芸は未熟だったが、そのことを指摘する人は周りに一人もいなかった。だが乳母のお徳だけは菊之助のことを思い、本人に注意をするのだった。いつしか菊之助はお徳に心を奪われるようになるが、そのことに気づいた母親はお徳をクビにしてしまう。菊之助は家を飛び出しお徳の後を追って大阪へ向かうのだが…。

【クレジット】

総監督 白井信太郎

監督 溝口健二

構成 川口松太郎

原作 村松梢風

脚色 依田義賢

撮影 三木滋人

藤洋三

美術監督 水谷浩

衣裳 奥村喜三郎

編集 河東與志

音楽 深井史郎

出演 花柳章太郎 尾上菊之助

森赫子 お徳

河原崎権十郎 五代目菊五郎

梅村蓉子 五代目夫人里

高田浩吉 中村福助

嵐徳三郎 中村芝翫

川浪良太郎 栄寿太夫

高松錦之助 尾上松助

葉山純之輔 守田勘弥

尾上多見太郎 尾上多見蔵

花柳喜章 尾上多見二郎

志賀迺家弁慶 按摩元俊

結城一朗 待合の客

南光明	新富座の頭取
天野刃一	新富座の女形
井上晴夫	奥役
石原須磨男	旅廻り太夫元
広田昴	旅廻り頭取
柳戸はる子	待合の女将
松下誠	猿廻しの男
富本民平	待合の客
島章	角座頭取
保瀬英二郎	旅廻りの役者
伏見信子	芸妓栄龍
花岡菊子	芸妓小仲
白河富士子	芸妓小菊
最上米子	元俊の娘おつる
中川芳江	茶店の婆
中川秀夫	お徳の叔父
西久代	お徳の叔母
花田博	旅廻りの役者
春本喜好	実川猿三郎
橘一嘉	菊之助の弟子
磯野秋雄	若い者
鏡淳子	五代目の女中
大和久乃	五代目の女中
田川晴子	五代目の乳母
柴田篤子	芸妓一
秋元富美子	芸妓二
国春美津枝	芸妓三
白妙公子	女角力